



碁楽連だより

<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/>

新年号 第245号

発行日 平成24年1月1日(土)
発行所 八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住所 八王子市みつい台2-13-12
TEL (042) 691-3671
発行人・磯部 信広
編集者・三浦 和夫

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する
高齢者が、囲碁を通じて親睦を図り、
かつ、健康を維持できるようにその
機会を提供し、高齢者の福祉の増進
に寄与することを目的とする。

年頭のご挨拶

新たなスタート

碁楽連会長 磯部 信広

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、清々しい新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

昨年は、3月11日に東日本大震災が発生し地震、津波、原発の被災があり、また台風12号、15号による風水害等が発生し、自然災害の恐ろしさを痛感させられた年でありました。また、一方では女子サッカーナデシコジャパンが世界一になり金杯獲得により日本中が希望と勇気をもたらした年でもありました。囲碁界では、山下道吾本因坊が名人位も獲得し史上7人目の名人本因坊が誕生しました。八王子碁楽連では、昨年4月碁楽連の活性化を目指し、その対策を検討する諮問委員会を設置し、委員の皆様には鋭意検討をしていただきました。

本年は、諮問委員会から近く出される最終答申を基に、名称の変更や年齢制限の撤廃など新しいスタートをすることになると思いますので、ご理解とご協力をお願いします。また、新しい試みとして、財団法人八王子文化ふれあい財団の主催、市民センターを運営する一部の地区住民協議会の共催による、地区内の住民を対象に行われる囲碁教室を碁楽連も協力して開講する計画が持ち上がっています。願わくは、こうした事業が普及拡充され、八王子の囲碁界に新風が流れることを期待してやみません。

最後に、本年が皆様にとって健康で幸多い年となるよう祈念してご挨拶といたします。



第 13 回碁楽連棋聖大賞囲碁大会のご案内

- 日時 平成24年1月15日（日）受付午前9時～9時30分
場所 東浅川保険福祉センター 4階（東浅川551-1 Tel 667-1331）
主催 八王子の碁を楽しむ活きいき連合（碁楽連）
参加者は、碁楽連の相談役、技術顧問、碁楽連会長、理事、業務委嘱者、諮問委員会委員、地区寿囲碁同好会会長他1名、研修部事務長及び碁楽連7段以上の会員
上記の方々には別途ご案内をさしあげております。
注意事項 自家用車での参加はなるべくご遠慮ください。

第 19 回碁楽連タイトル囲碁大会のご案内

- 日時 平成24年2月12日（日）受付午前9時～9時30分
場所 東浅川保健福祉センター 4階（東浅川551-1 Tel 667-1331）
主催 八王子の碁を楽しむ活きいき連合（碁楽連）
後援 八王子市、同教育委員会、日本棋院
参加資格 各地区同好会の平成23年度前期・後期のタイトル獲得者（もしタイトル獲得者が参加できないときは、王座と天狗戦に限って届け済みの準優勝者が代わりに参加できます）
参加費 700円
競技方法 碁楽連方式
注意事項 自家用車での参加はなるべくご遠慮ください。

◎タイトル戦に関して地区同好会会長さんへお願い

- （1）後期地区タイトル戦の優勝者・準優勝者の氏名（名人戦は優勝者のみ）を1月15日までに連絡をお願いします。
- （2）12月15日付け書面でお願いしましたが、第19回タイトル戦（上記に案内）への出場者名を1月25日までに同封のハガキか、または他の方法により連絡をお願いします。

連絡先：三浦和夫 四谷町731-6

Tel/Fax : 624-5429 Eメール : kz513miura@ybb.ne.jp

第 22 回碁楽連囲碁大会（3段以上）が開催されました

碁楽連大会3段以上の部が12月4日に行われました。当日3段以上の18名の方々が高齢者表彰されました。更なるご健勝を祈念いたします。

高齢表彰者

NO.	年齢	氏名	所属	段級	生年月
1	80歳	高索信幸	浅川	6段	S. 6. 12
2		吉開孝之	↑	5段	S. 6. 1
3		田中利孝	↑	4段	S. 6. 3
4		山崎 稔	恩方	↑	S. 6. 3
5		後藤孔滋	↑	3段	S. 6. 1
6		木島洋治	中野	6段	S. 6. 2
7		戸野敦充	石川	5段	S. 6. 3
8		松田礼治	↑	↑	S. 6. 7
9		二宮 学	↑	4段	S. 6. 11
10		山本三好	北野	6段	S. 6. 7
11		稲葉重雄	↑	5段	S. 6. 5
12		植木正芳	↑	3段	S. 6. 2
13	85歳	城大次郎	浅川	7段	T. 15. 1
14		藤井忠明	大和田	↑	S. 1. 7
15		岩松 清	↑	4段	S. 1. 10
16		大河原静	北野	6段	T. 15. 10
17	88歳	横藤田正	↑	3段	T. 12. 2
18	90歳以上	中田 勉	中野	6段	T. 5. 8 (95歳)

大会の結果

参加者 (103名)	優勝	準優勝	第三位
A組 (7～6段) 19名	真田誠次 7段/浅川	五十嵐寛 7段/恩方	塚原和利 7段/長房
B組 (7～6段) 20名	福田 卓 6段/恩方 → 7段に 昇格	入山慧三 6段/元八王 子	石神芳雄 7段/北野
D組 (4段) 23名	高沼正三 5段/由木 → 6段に 昇格	井上國臣 5段/川口	岩田大平 5段/浅川
D組 (4段) 26名	二宮 学 4段/石川 → 5段に 昇格	小沢正巳 4段/恩方	渋谷昭男 4段/台町
E組 (3段) 15名	山本乙文 3段/川口 → 4段に 昇格	山崎 臣 3段/元八王 子	梶原和夫 3段/浅川

投稿

宝の山を歩く

長房寿囲碁同好会 池口 隆久

高尾山に健康登山で登り始めてから 5 年になる。100 回の満行（満願）を経て、なお毎朝山に来ている弓立さんがつぶやいていた「ほら言うだろう。ないときに辛抱、あるときに節約。腹のたつことは明日に、ほめることはその場で」いい言葉だと思った。どこで聞いたのかと聞いてみると、「そこに書いてあるよ」と指すので見ると、寺務所（社務所）の前にあるお堂の横に小さな日焼けした木の札にやっと読める程度の字で書いてある。

近寄って目を凝らせて判読すると

- ・ それぞれの人に歩幅あり、何でもあせらずに
- ・ 人の道は心にあり、心は行いにあり
- ・ 余裕もう少し、心の器にも
- ・ ないときに辛抱、あるときに節約
- ・ 大いなる楽しみは、苦悩から芽生える
- ・ 腹のたつことは明日に、ほめることはその場で
- ・ 手の届く夢を、ひとつずつ本物に

こういう有難い言葉に、5 年間も来ているのに今まで一度も気づかなかった自分を恥ずかしいと思う。毎日のように前を通っているのに気づかなかったとは。この 7 つのさとしは、どれも不出来な自分に当てはまる。このさとしを心に留めて生活していけば、ちっとはましな（価値ある）人生が送れるのではと思う。

お山にはほかに、価値ある言葉が、あちこちに転がっているのではないかと思う。これを見つけるかどうかは、一人ひとりの心がけにあると思えた。こうした価値ある言葉を宝とみなせば、私は毎日、宝の山を歩いていることになる。

ほかに宝はある。それは、自分の流す汗と毎日出会う友達とだ。坂を上っては汗を流す。健康にはいいものだ。それも、毎日一定の時間に汗を流すのがいい。その習慣が生活の一部に取り込まれてくれば、こんないいことはない。坂道を上り下りし粗食（贅沢でないバランスの取れた食事）に耐える、これは日本一の長寿村ゆずり原の昔の人の生活だ。だから、毎日の汗は宝物だ。日々の生活にある程度の負荷を掛けるように努力したいものである。

もうひとつの宝は、毎朝のように顔を合わせる友達である。挨拶し、ちょっと会話するだけで心が安らぐ。落ち着くといった方があっているかな。一日家でぼんやりしていると、なんとなく落ち着かない。そわそわしている。休まらない。おかしなも

のだ。やはり、友達と会うことによって精神の健康が保てる。毎日一期一会の友達との出会いの場こそが、自分にとって宝なのだ。

ひらつか囲碁まつり 1,000 面打ちに参加

由木寿囲碁同好会相談役 信江 峻

平成 23 年 10 月 9 日秋日和 10 時 20 分当選券を持参、93 番の座席券を貰った。それには 12 時 50 分迄に着席、希望の手合割の石を置く、考慮時間はなく棋士が回ってくる間に次の手を打つ、無断で離席しない、対局時間は 85 分との注意書きがあった。

平塚駅前商店街の通り（八王子で言えば駅北口の放射線道路）には数百米にわたり左右に碁盤 250 面ずつ並べられていた。

指定席につくと直ぐ後ろに人垣ができた。間の通路をブラスバンドと棋士 80 人の行進、武宮など人気棋士が愛想を振り撒く。

セレモニの市長談話によると対局申込者は北海道から九州まで 5 歳から 94 歳、参加者は 7,500 人とのこと。

1,000 面打ちは 1 時と 3 時の 2 回に分けて行われた。会社や近所の囲碁仲間、家族づれ、入門教室の女性や子どもなど和やかな雰囲気、見渡すと置石も六子から九子が多かった。

通路に棋士が入り両側の 7 人ほどを受け持った。私の相手は黒滝六段となり、三子置いて対局開始。坂井元棋聖が通りがけに一手参加した。二人とも終始無言でどんどん打ち進め、打ち終わった順に対局者一人ずつ丁寧に講評と手直しをしてくれた。

その後は見学。元タイトルホルダーの石田・武宮・林・結城・坂井・小川・小林千のサイン会・囲碁教室・入門教室、バザール、漁師鍋、キャンディーの掴み取りなど各会場とも賑っていた。

平塚は昭和初期呉清源と一世を風靡した木谷実が全国から才能ある子供を自宅に呼び実子同様育てた木谷道場があって、50 人余の棋士を生み出した。そして大竹・石田・加藤・趙・小林・武宮などがタイトルを独占し旋風を起こした。

平成 8 年博物館でその足跡を知らそうと木谷実展を開催したところ、12,000 人の来館があり 200 面打ちも好評であった。これがきっかけで湘南ひらつか囲碁まつりが始まったとのこと。

平塚市では囲碁を大事な文化資源とし予算をとり、1,000 面打ちのほか初心者・子ども・女性入門教室や七夕囲碁大会、地区別対抗戦などのイベントを始めた。入門教室は毎年 500 人以上が参加し、10 数年前は殆ど普及してなかった囲碁が、今では文化として着実に根付いてきていることが実感でき興奮の一日であった。

ところで、八王子にも在住棋士5人、青木紳一九段、揚嘉源九段、揚嘉栄八段、甲田明子三段、田尻悠人二段そして三浦浩相談役がいる。先日の八王子大会には青木プロの小学4年生の娘さんが5段で参加した。囲碁文化醸成の種は存在するのだ。

原稿募集 薄謝進呈します

囲碁に偏らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライブ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでもOKです。写真も大歓迎です。また、同好会員のご家族からでも結構ですのでお待ちしております。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については、薄謝を進呈します。

原稿送付先 広報担当：三浦和夫 住所 193-0813 四谷町7 3 1 - 6

電話・fax 624-5429

メールアドレス kz513miura@ybb.ne.jp

◎第9回 碁楽連理事会

日時 平成23年11月26日(土) 9:00~12:00

出席者 理事6名、望月成一・端山昌夫氏

- 議案
- 1: 次年度理事候補者の推薦依頼について
 - 2: 賞状記名者の変更及びホームページ担当について
 - 3: 碁楽連囲碁大会開催要項及び諸準備、担当について
 - 4: 棋聖大賞囲碁大会の案内について

編集後記 碁楽連囲碁大会(3段以上)は当日欠席20名、途中棄権が10名おりました。今までにない多さで、残念におもいました。本年は碁楽連、会員の皆さんにとって飛躍の年になればと祈念します。本年もよろしくご協力くださいますようお願いいたします。